

①

No.72 2009年3月19日

苔でないコケの話

苔ではないコケというのは正式には「地衣類」といいます。
これは藻類と菌類の共生体で、菌類が地衣体と呼ばれる入れ物を作り、藻類をそこに住ませ、藻類は住まわせてくれる代償として糖類やアミノ酸を作り出して菌類に分け与えるという生体を持っています。

今回は、いかにして彼らは繁殖していくのかを少しお話したいと思います。

菌類と藻類はともに孢子を飛ばして繁殖をしています。
どうぜん地衣類も孢子を飛ばす器官を持っています。
しかし、孢子を飛ばす時期はもともと違う生物なので違うのです。



画像の先端部分はその孢子を飛ばすための器官、子器と呼ばれる部分です。

この孢子を飛ばすというやり方は、彼ら地衣類にとってはちょっとした賭けのような繁殖方法となります。

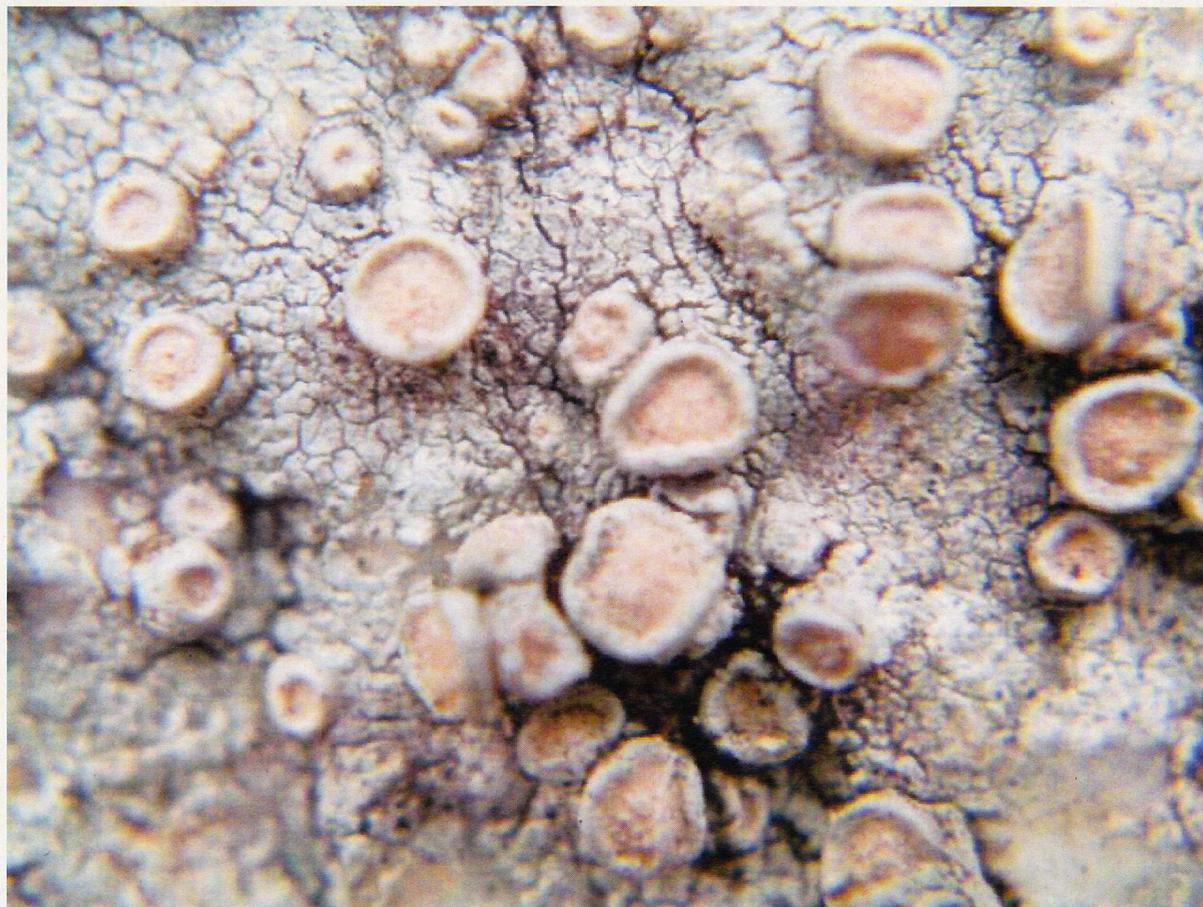
ではどのような繁殖をするのでしょうか？

画像の地衣体の表面を覆っている粒状のもの、これがその鍵となります。

この粒状のものは菌類の作ったカプセルのようなものだとお考えください。

その中に藻類が住んでいるので、そのカプセルを落として繁殖をすれば地衣類として繁殖することができるのです。

②



このドーム状のものも同じような働きをします。
このドーム状のものは、同時に胞子を飛ばす役目も担っています。